

症例報告

タイトル：サルコイドーシスを伴い診断に難渋したリンパ腫様肉芽腫症の1例

本橋 遥

石割 茉由子

河野 雄太

山口 優樹

水島 麗生

阿部 信二

東京医科大学

呼吸器内科学分野

要旨：

症例は 68 歳男性．前立腺癌の化学放射線治療後，経過観察中に腹腔内リンパ節腫大を指摘された．低悪性度 B 細胞リンパ腫が疑われるも確定診断は得られず，その後両側肺に新規結節影を認め当科紹介となる．FDG-PET で集積のある鼠径リンパ節生検で類上皮肉芽腫を認めた．増大する肺病変に対し胸腔鏡下部分切除術を行いリンパ腫様肉芽腫症の診断に至った．サルコイドーシスの経過中にリンパ腫を発症することがあり，活動性が高い病変へのアプローチが早期診断の一助となる．

キーワード：リンパ腫様肉芽腫症，サルコイドリンパ腫症候群
lymphomatoid granulomatosis, sarcoidosis-lymphoma syndrome
短縮タイトル：サルコイドーシスを伴ったリンパ腫様肉芽腫症の
1 例